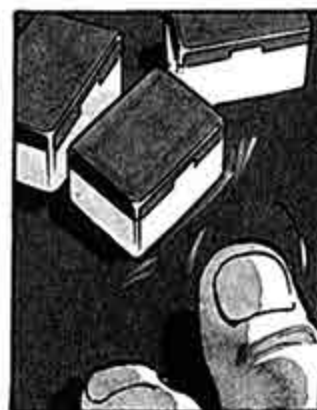


マスター
何年になるん
だい？



フクロ
池袋にこの店
構えて24年……
てえしたもんだろ

へえ——
ちようど俺の
歳じゃないか



まあその歴史の中で
瞬ちゃんは当然
5本の指に入ってるよ




天



第1回

裏火

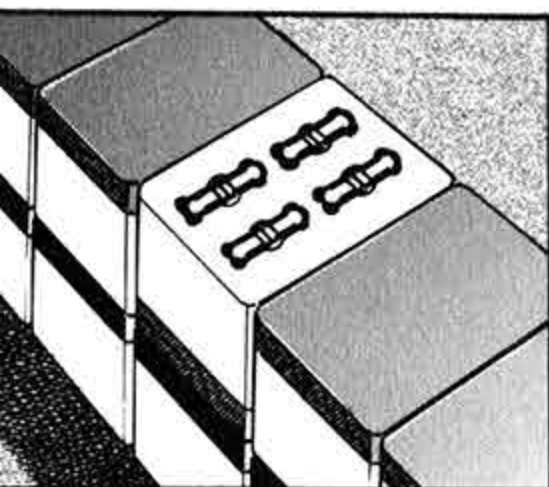


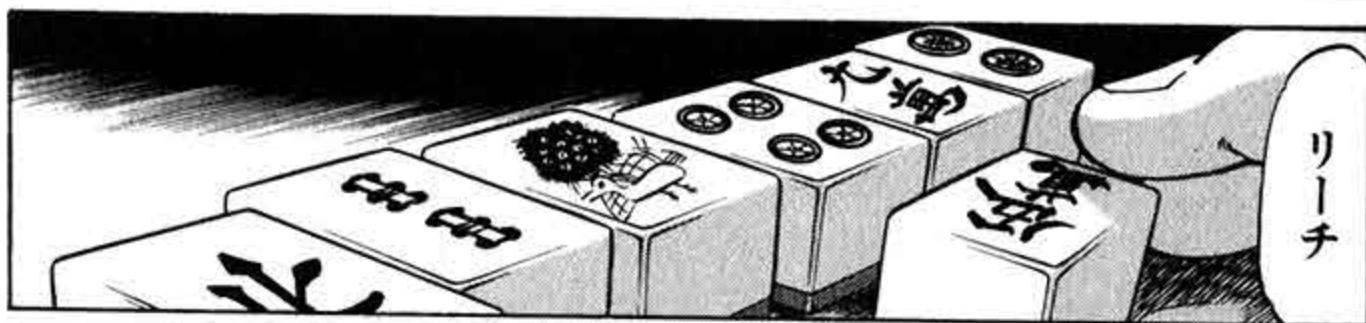
No.1とは
言ってくれない
のかい

裏メン













松川が証券へ
内定決めたときは
1番出世だと思
ったけど

それが潰れち
まうとは
お釈迦様でも
つてか

今
何やってんだ



アホか…



新宿で
鳥焼いてる

バイトしながら
劇団で汗
流してるんだ
カッコイイだろ



リーチ



ロン



ダブルリーには
字牌と3下7上
は切るなって
格言もあるし…



おいおい
親のダブルリー!?

裏メン



お前の強運
には呆れるぜ



倍満って…
ダダブリーで
タンピン三色
ドラ1だあ!?



裏は
見ないぜ

乗っても
倍満止まりだ



24にもなって
麻雀でその日暮らし
のブータローはねえだろ
親のスネかじってる
わけだし

そろそろ瞬も
麻雀
足洗いなよ



だから道を
誤るんだ




要するに
学生と社会人は
違うってことだ




仕送りは
4年で断った

好きな麻雀
続けて
何が悪い?




そうかな




さつきから聞いてりや
俺にはお前らの
ほうが小さく
見えるけど



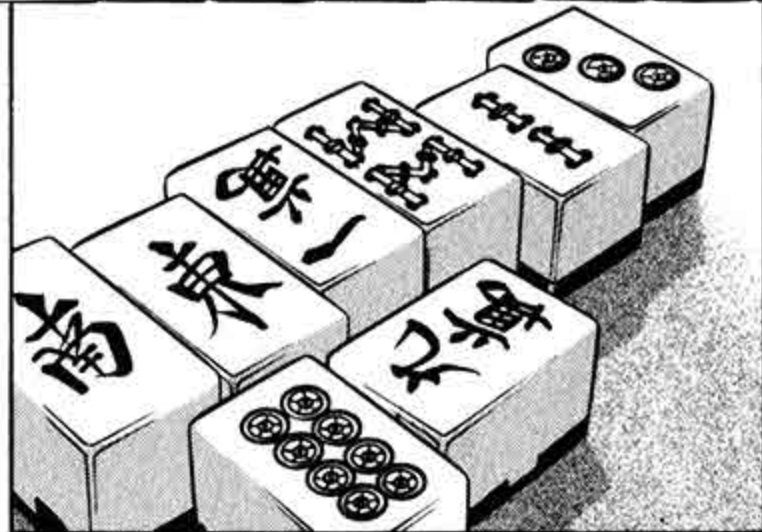
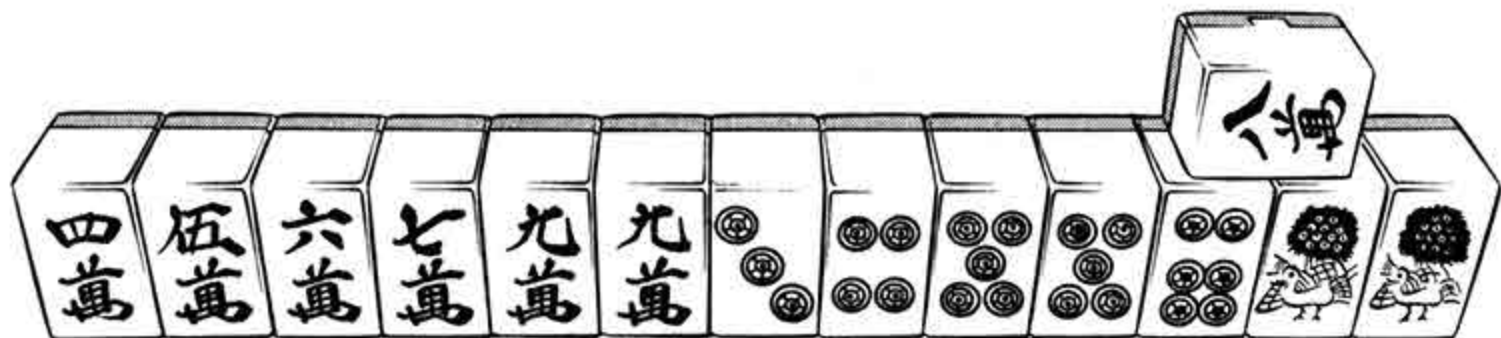
ナニッ



よしなよ



いるんだよなあ
何にも
出来ねえくせに
「僕は世の中の
歯車には
なりたくないです」
なんてとぼけたこと
言う奴が





3000
6000



だアー!?
タンキ



ガンの牌で
俺達の金を
巻き上げようって
算段かよ



ちょっと待て!

俺のリーチに
ハまで切ってタンキ
なんて不自然すぎや
しねえか!



俺が…

※牌の傷などを目印にする打牌、又はその牌。



俺がなぜ
5年間も
この店に通ったと
思ってる

どんなに徹マンが
続こうが
毎日牌を1個1個
磨いてるマスターの
姿をおまえらも
見てるはずだ

傷がついたら
新牌だっすぐに捨てる
気の配りよう……



瞬ちゃん
いいって



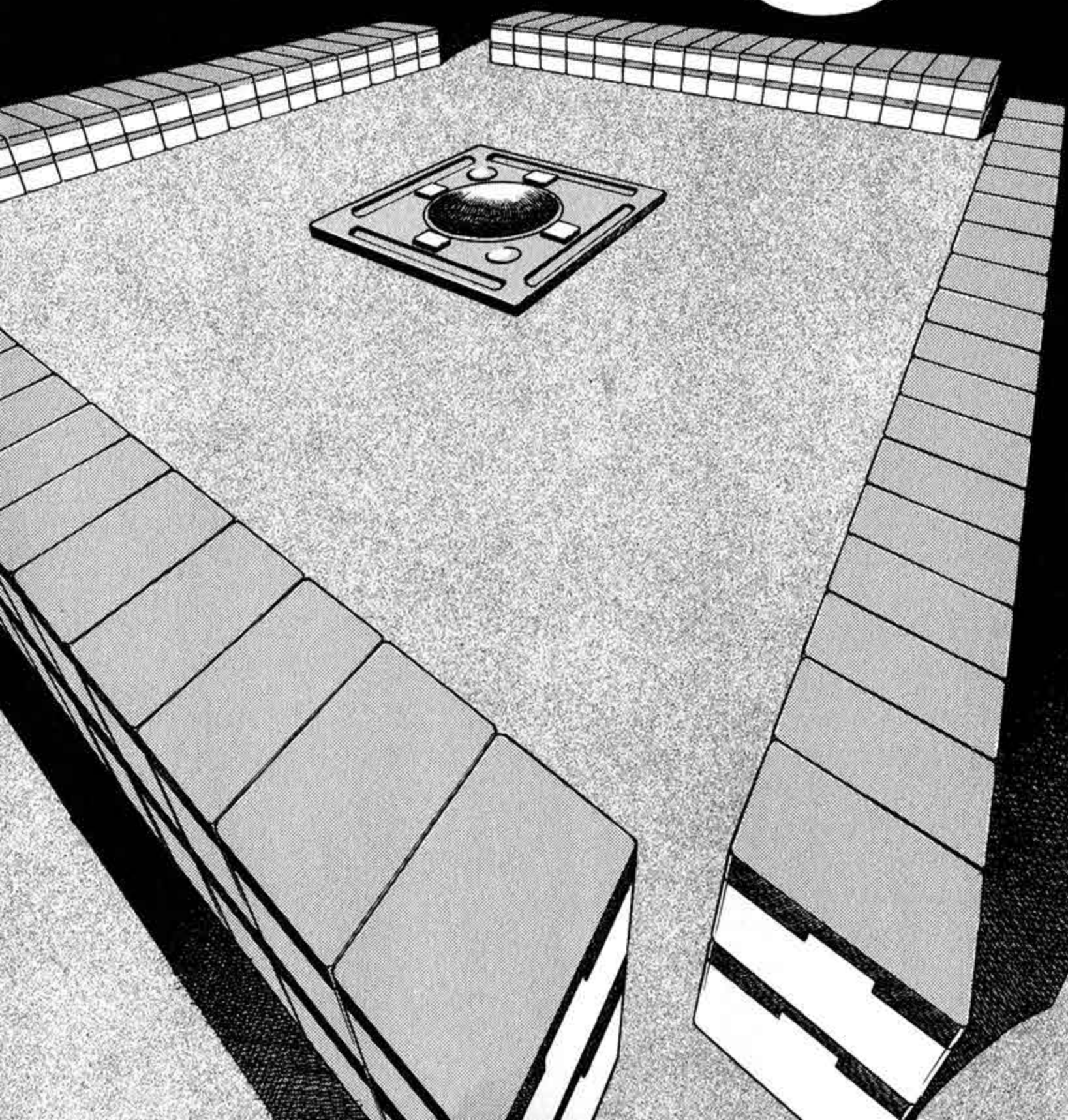
ツマンねえ
イチャモンつけて
マスターに失礼だとは
思わないのか!

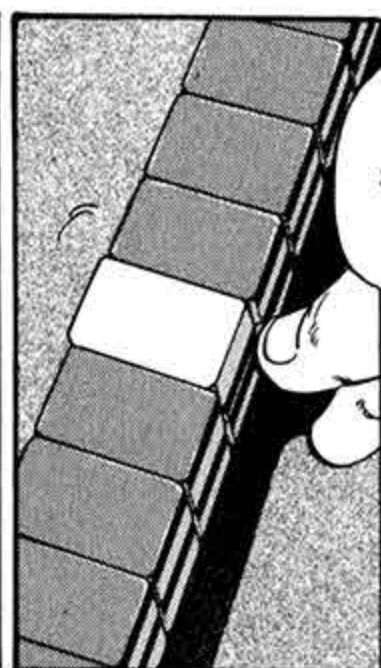
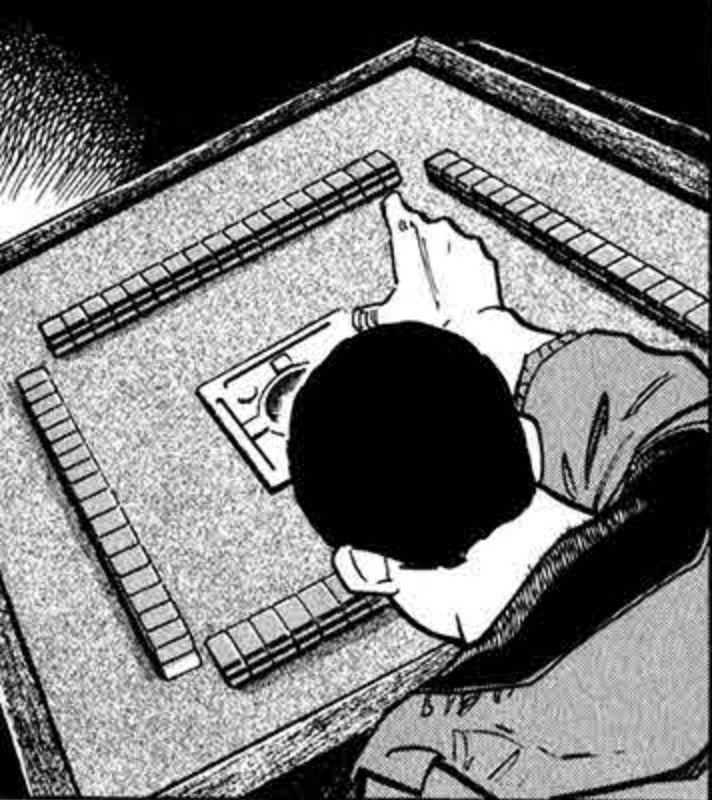


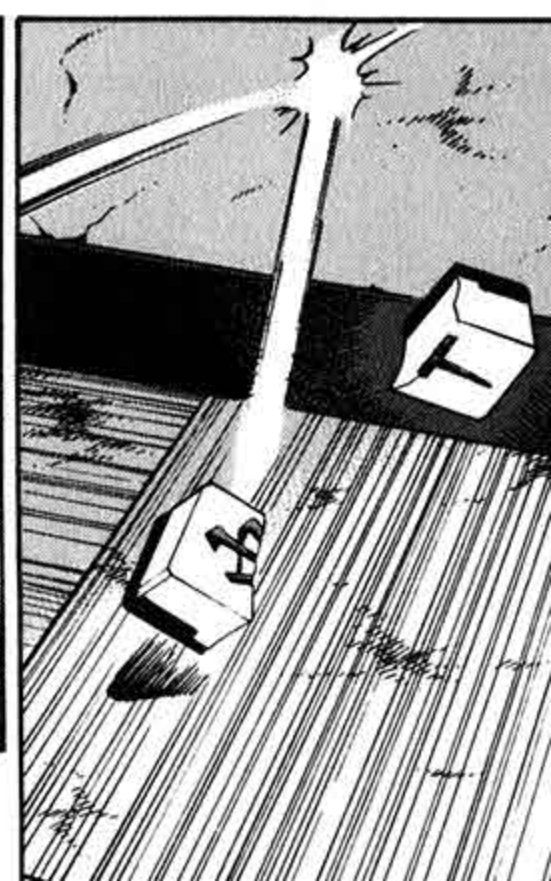
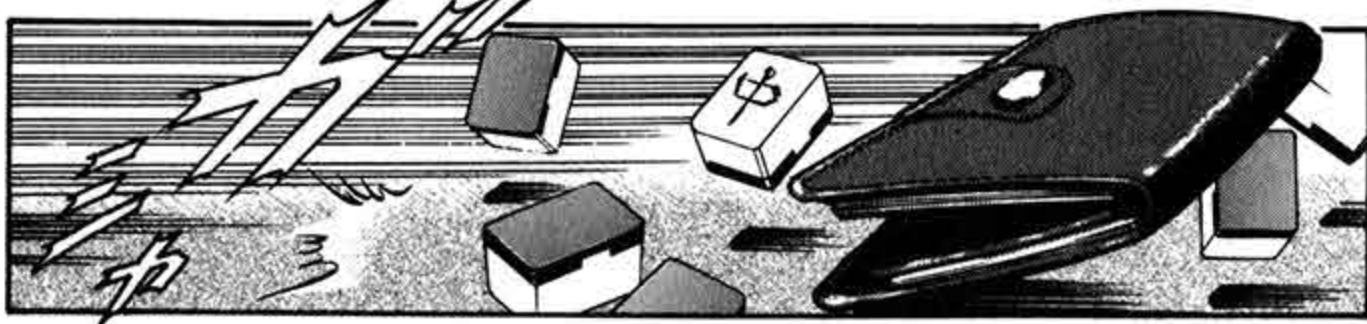
もう1つ
雀荘に行ったときの
ために教えといて
やる

覚えとけ
ドラはお前と
俺の態勢の
差で打った

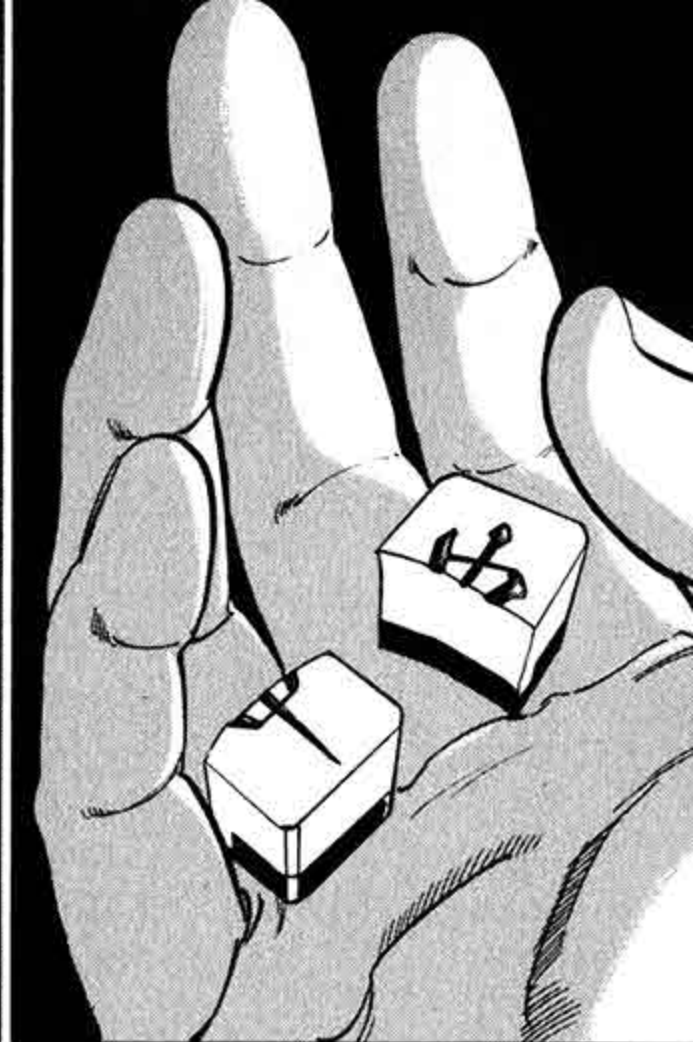
積まれた136枚
□のあるところだけ
微妙に牌の高さが
違う！







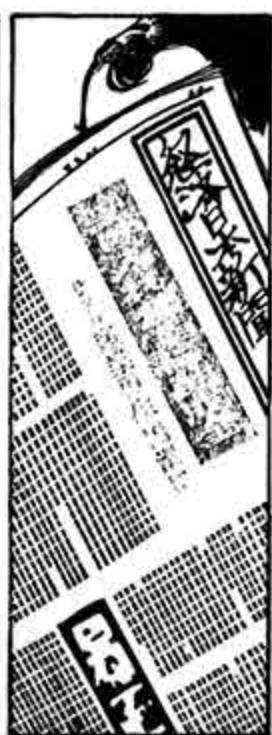




裏メン







※千点2000円。一着4000円、二着2000円のウマ。



フリーで2000円
しかも新宿ともなれば
店がかもし出す独特の
雰囲気があった――



俺も10000円の
麻雀までは
かじっちゃいるが
やはり初めての
顔出し雀荘には
緊張が走る

※千点1000円のレート



こころラス半
入るぜ……

コーヒー2つ
ブラックで……



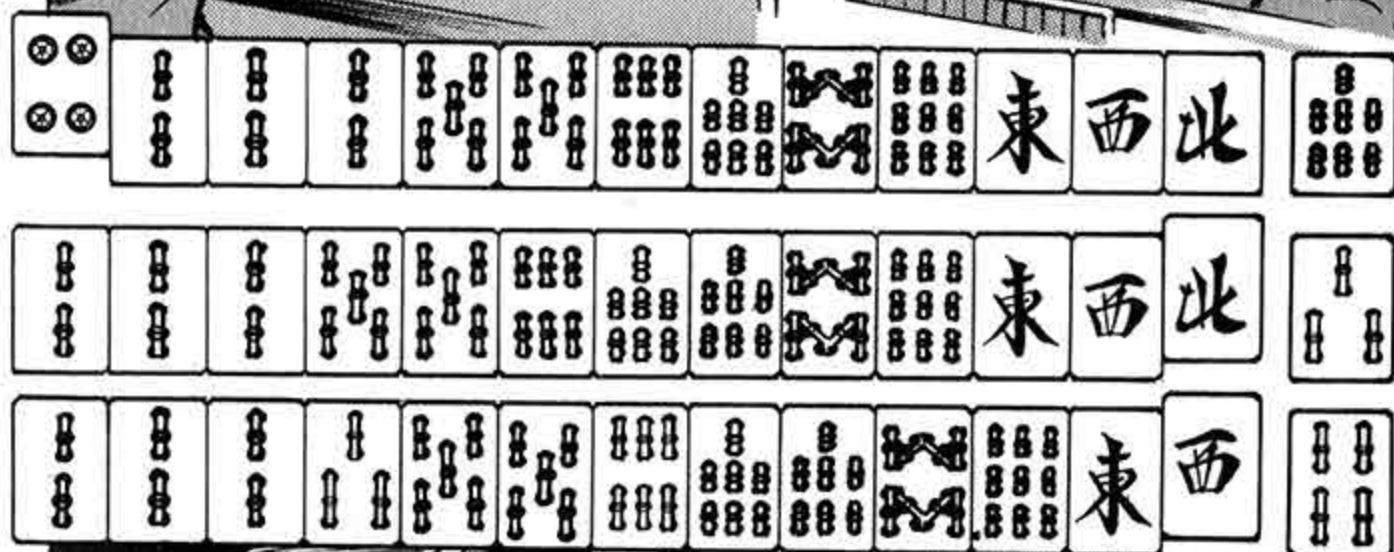
麻雀は
口で打つんじゃ
なくて腕で
打つんだよ



アガかないほうが
怪我が少ねえと
思うぜ



裏メン







ゲン直しに
飯でも食うか
おーい

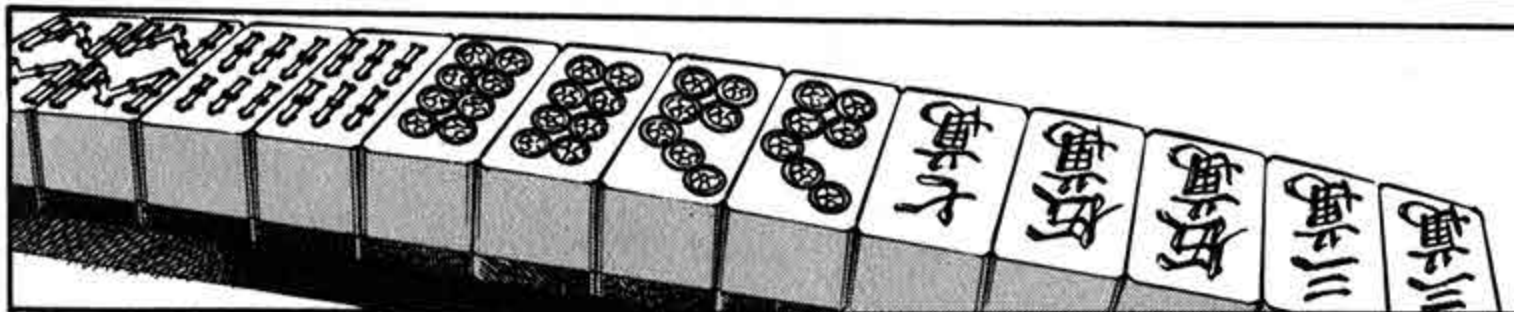
一見の坊やに
3連勝されたと
あっちゃやなあ
俺も引退
間ぢけえな



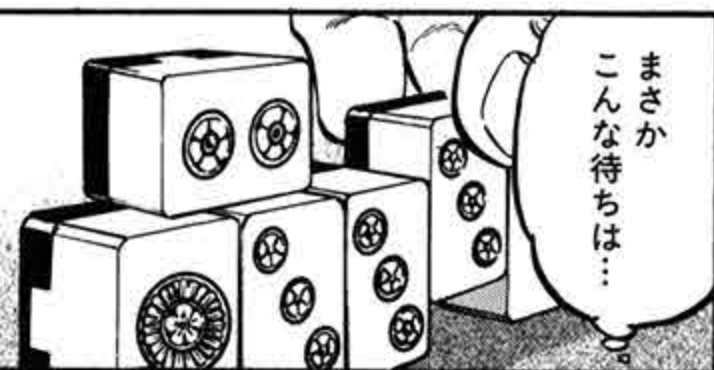
楽勝ムードが漂った
それは4回戦目の
東ラスのことだった

対面は
手堅い麻雀で
ぶら下がりの
2着3回

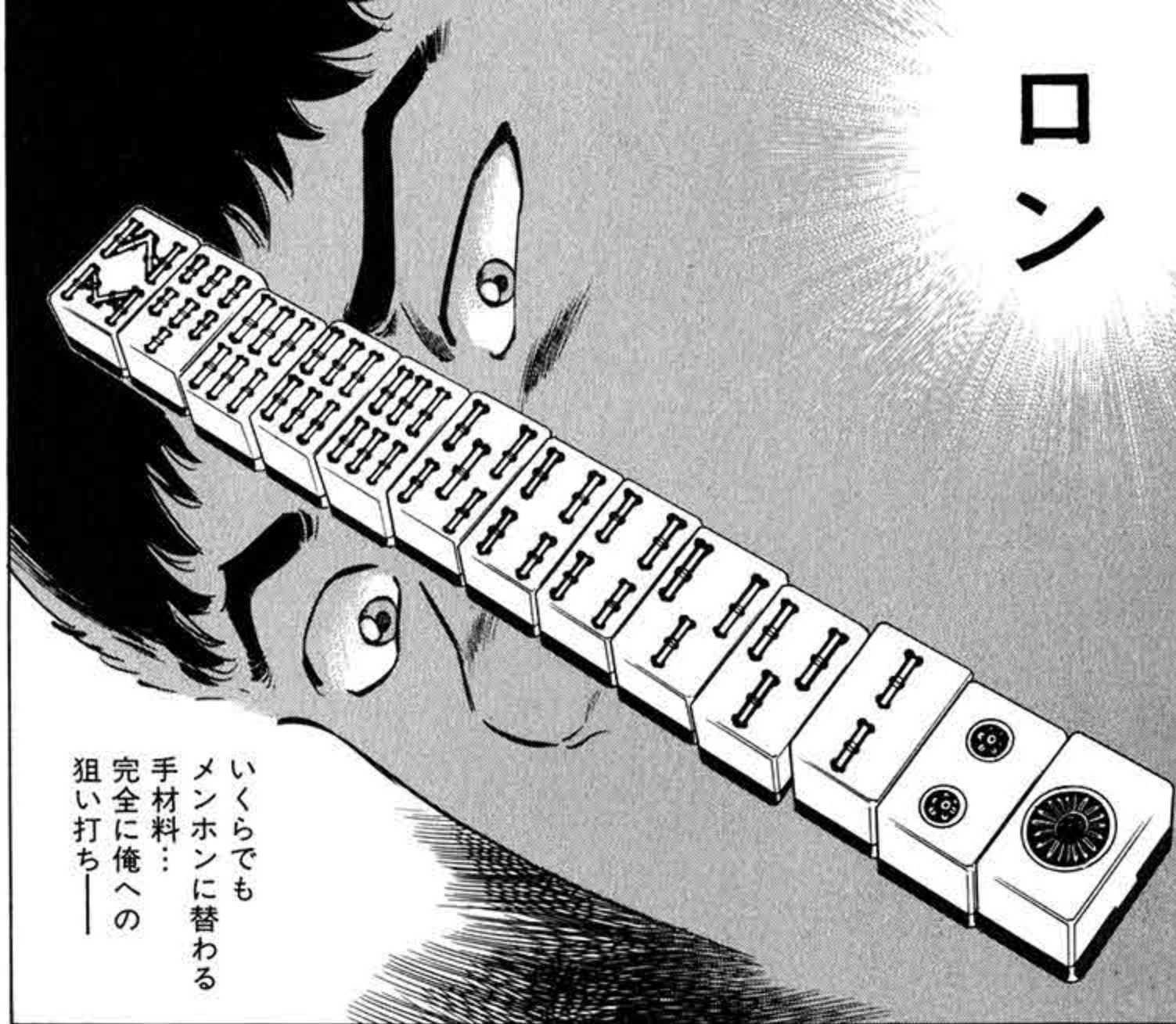




裏メン



ロ ン



いくらでも
メンホンに替わる
手材料：
完全に俺への
狙い打ち——



塩谷さん
ちよつと手を
抜いてくれよ

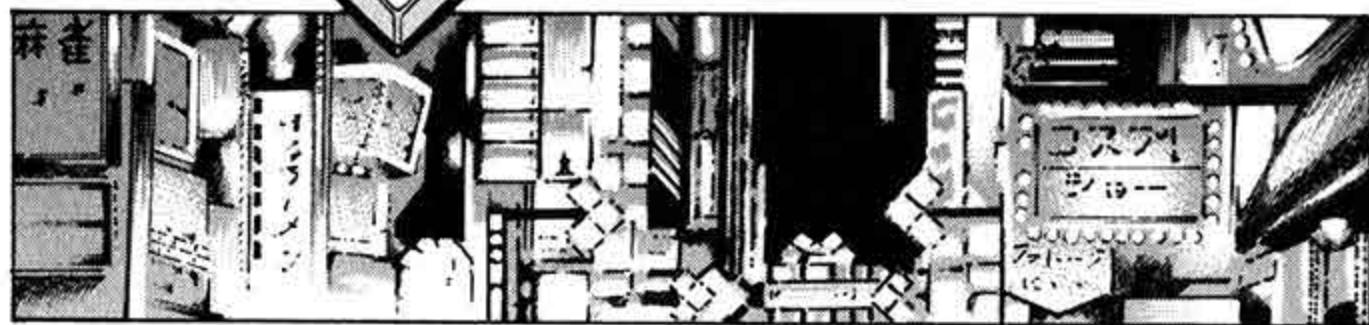


やっとツキが
普通に戻ったって
あんばいだな

奴はプロだ：
場の何もかもが
看破されている……

なんとと言われても
仕方なかった







対面の野郎
裏メンだからな

相手が
悪かったな



裏のメンバーって奴さ
客を装った裏メンを
店側が潜りこませ
とくのさ



裏メン？

あんな…
隣の卓で
打ってた…



トウシ！

奴も裏メンで
雇われるぐらいだから
相当腕は立つ

けどアンタみたいなの
「引きの化け物」に
ぶつかった時や
読みが冴えねえ時には
店とグルでトウシを
やるのよ

裏メン





ここで
引き下がれるわけ
ないじゃないか!!



お客様大歓迎
田名様
お帰りなさい



彼と
打ちたいから



沖本さん
でしたね
すぐ打てますが
……

いや……



チッ

酔っぱらいなんか
雀荘に入れるんじゃ
ねえってんだ



アサヒ



メンタンピン
一発

ドラドラ
でんでん



通せ!

通んねえんだな
これが……







裏メン



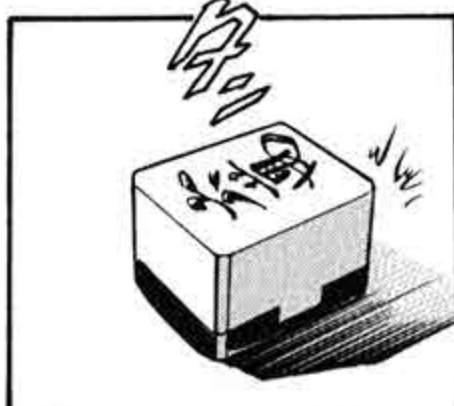
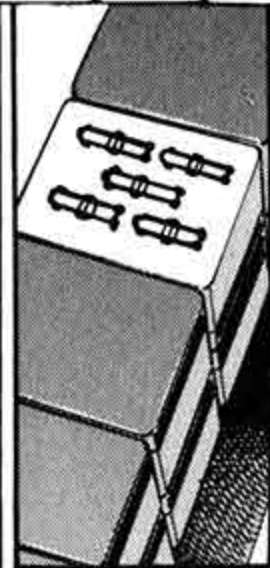
こりや
リベンジどころか
日を改めるべき...

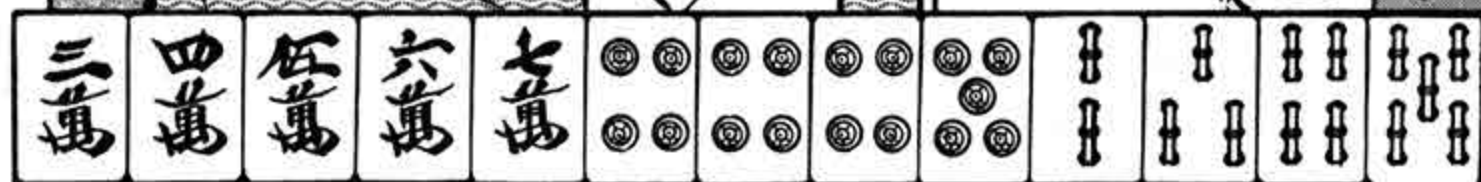


半荘3回
音無し...

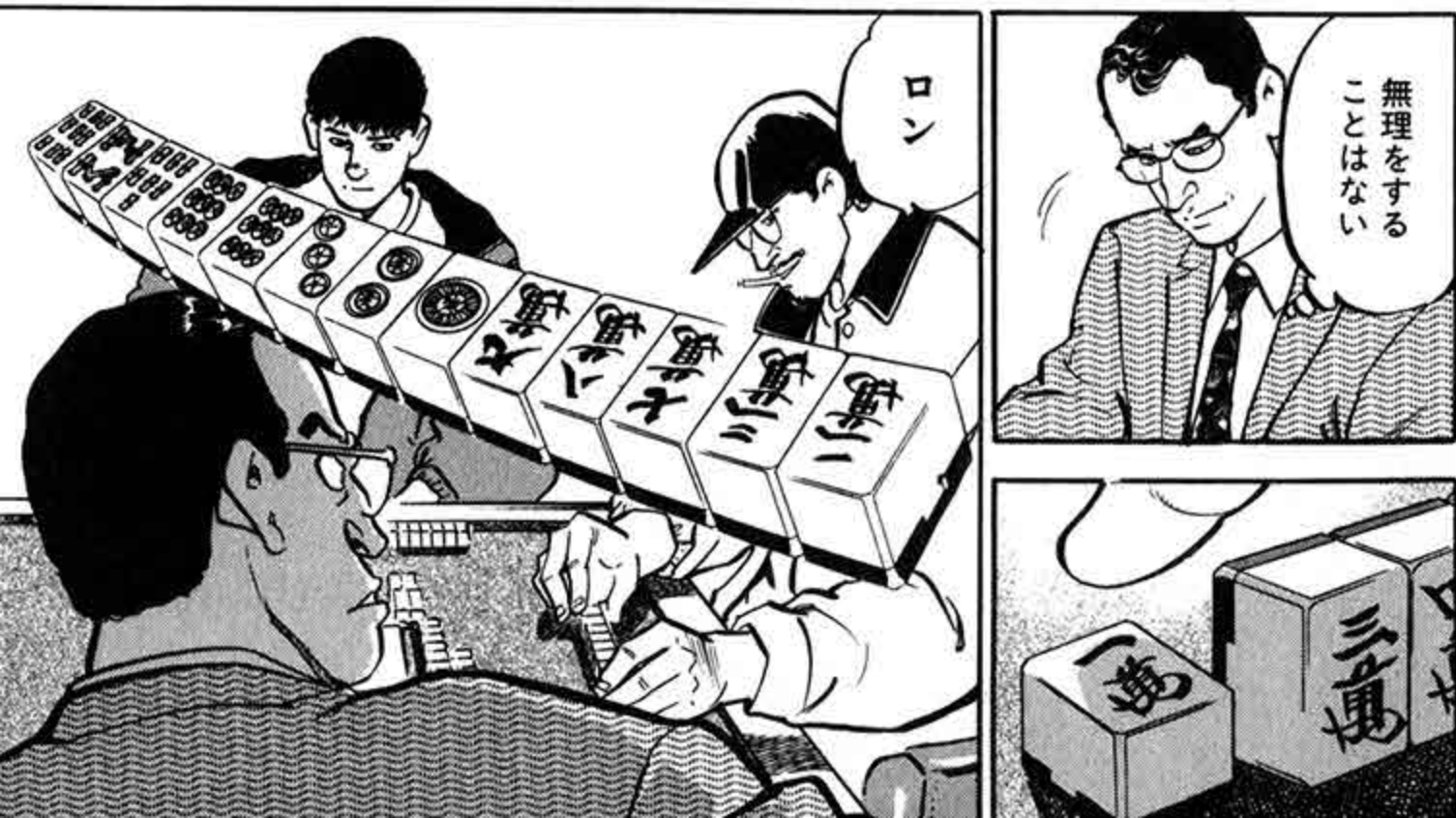


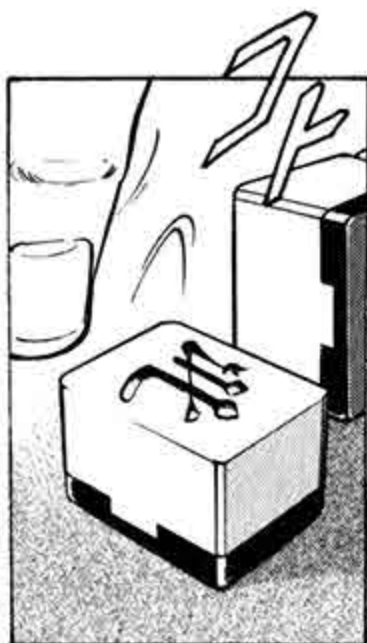
俺は
負けるわけには
いかないんだよ





裏メン





俺を警戒
しすぎて他へ
放銃ですか



おっと
塩谷さんから
そんな牌が
こぼれてくる
なんてねえ



俺へのトウシは
続いているもの
流れは少しずつ
変わりつつあった



なんだって!?



逃げようたって
そうは
させませんよ



ドボンだ



俺は
麻雀バカだ

バカだからこそ
麻雀舐めてる奴を
見ると無性に
腹が立ってね



アンタ
裏メンなんだから

だったら裏メンの
プライドってのは
ないのかい

瞬!



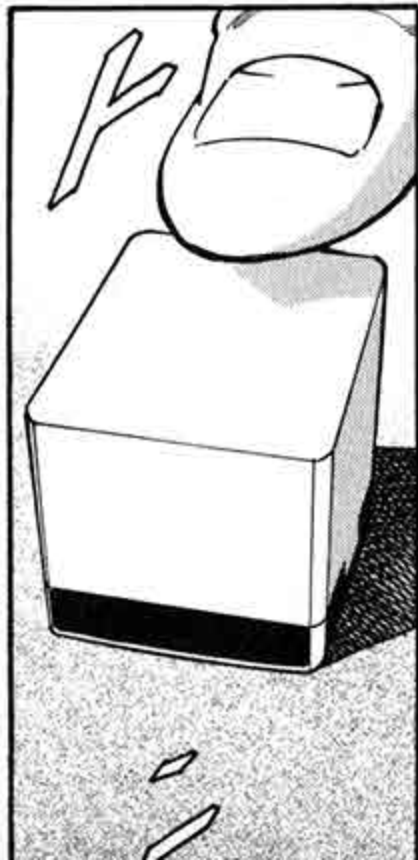
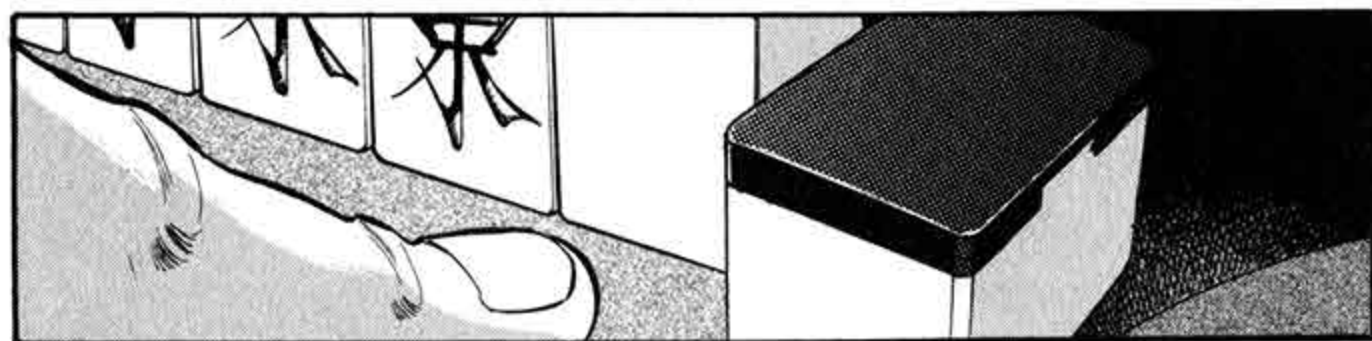
裏メン



7巡目で
 と高めの
 4暗刻タンキが
 入ってるだと――！



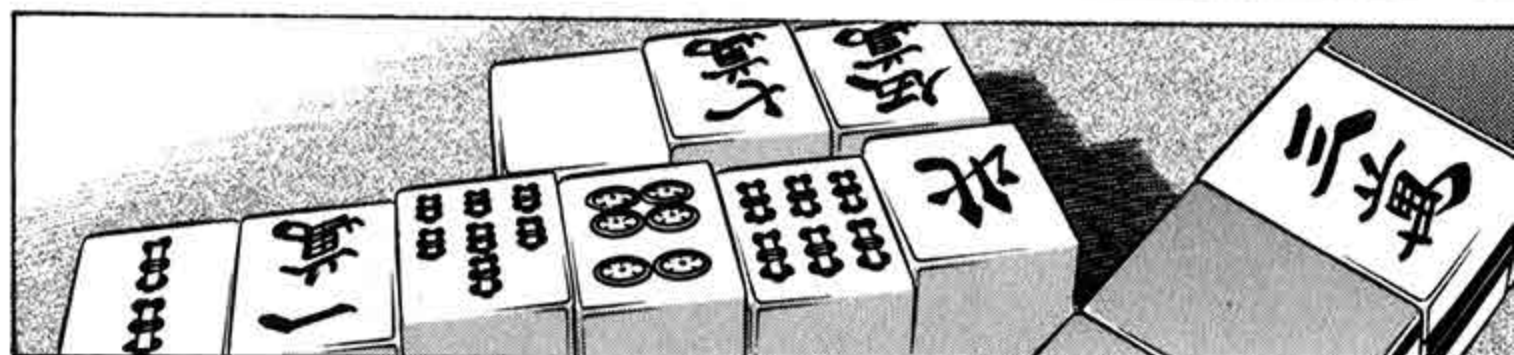






何が…
何が当たり
なんだ…！

くそお
これ以上
テンパイを維持
出来ない

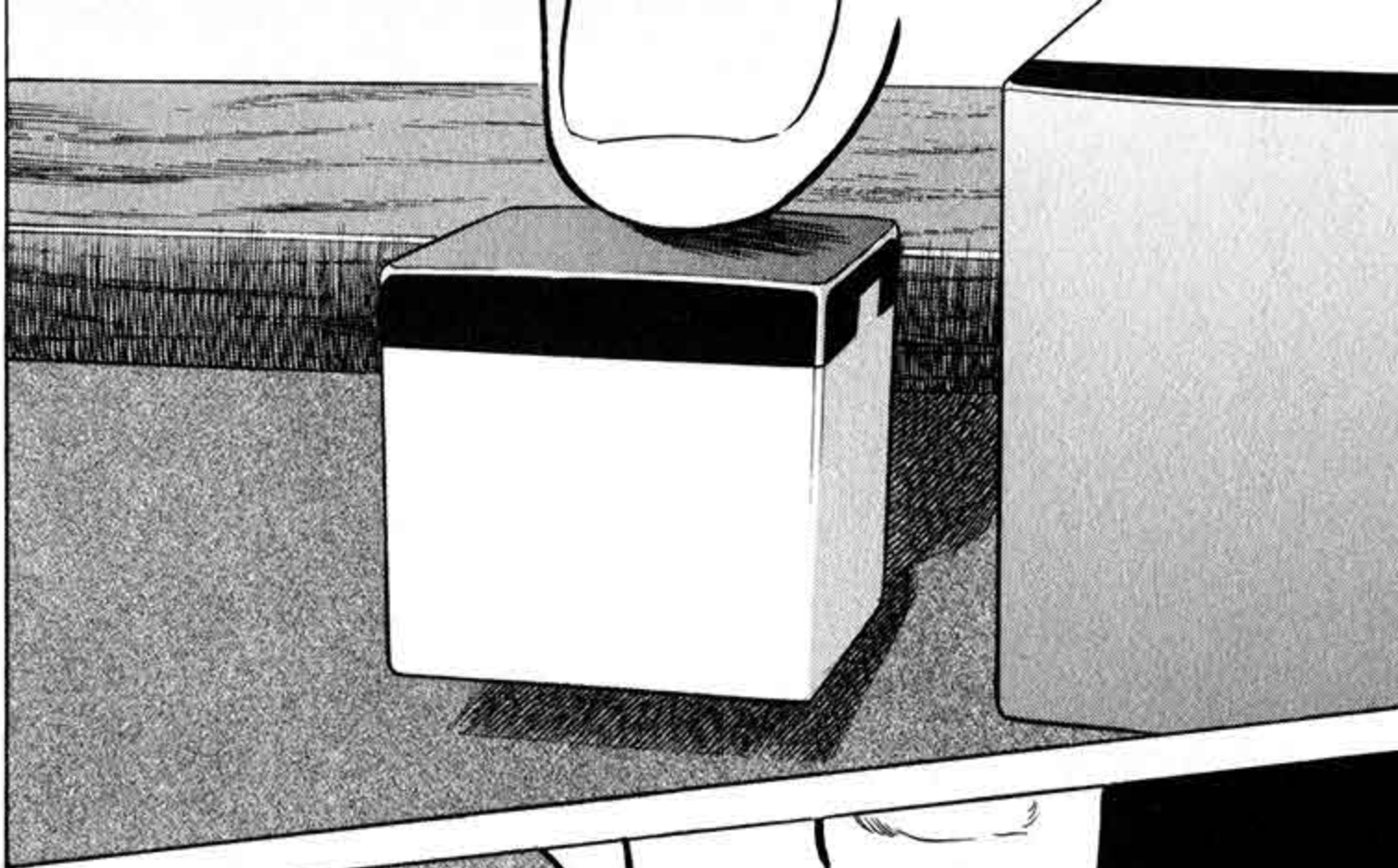


安全牌は
暗刻の
ドラ四萬しか
……



裏メン



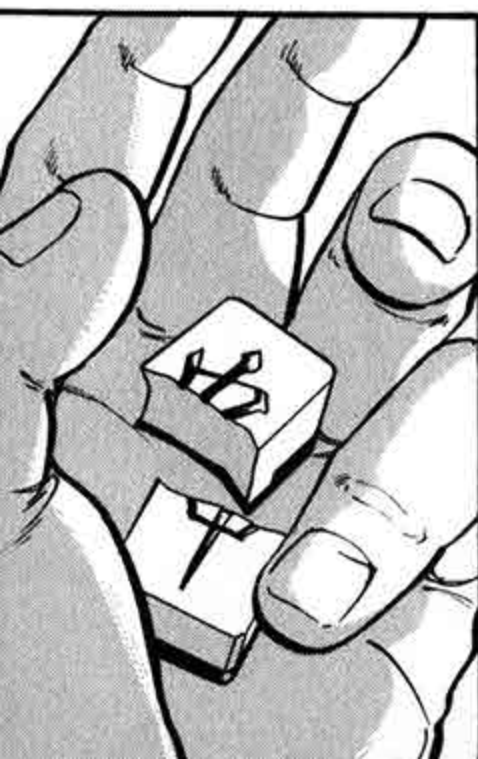


裏メン





裏メン





俺は……
俺の道を行くだけさ



覚えとくかな

沖本瞬



第2話



オトシ打ち

一萬

五萬

六萬

七萬

八萬

九萬